

ご利用に関するアンケート 集計結果

調査対象
実施期間
回収率

ご利用者様のご家族の皆様
R04.12.10～12.25
72.2%

ご回答くださった13件の回答の回答方法の内訳
・アンケート用紙をご提出くださった件数・・・7件
・webでご回答くださった件数……………6件

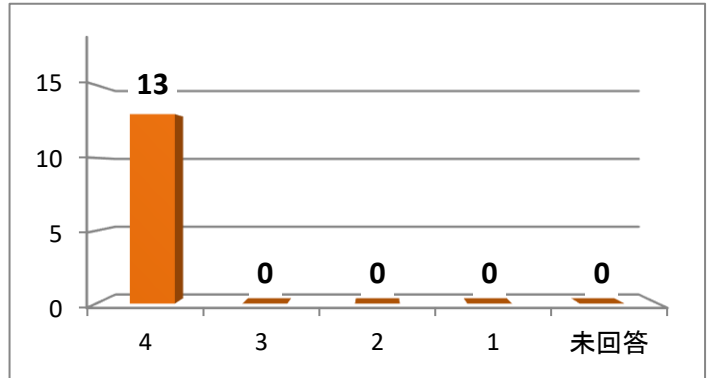
各設問に対して、

できている⇒『4』 まあできている⇒『3』 あまりできていない⇒『2』 できていない⇒『1』

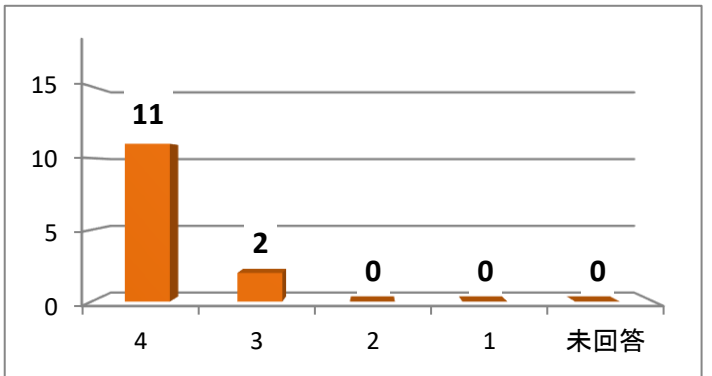
でご回答いただいたものを集計しています。

1. ご家族様にとって、グループホームが安心できる存在となっていますか。

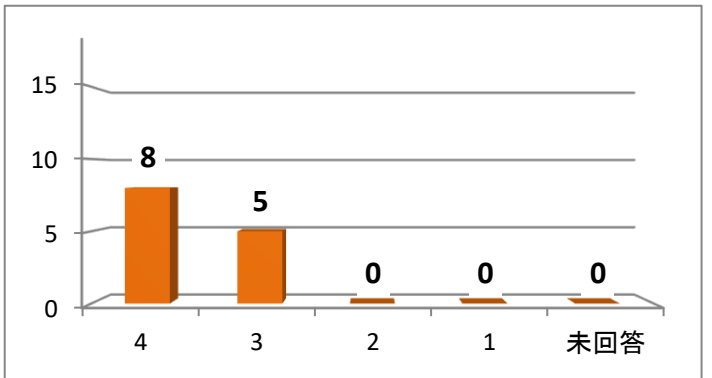
◇ 安心です。



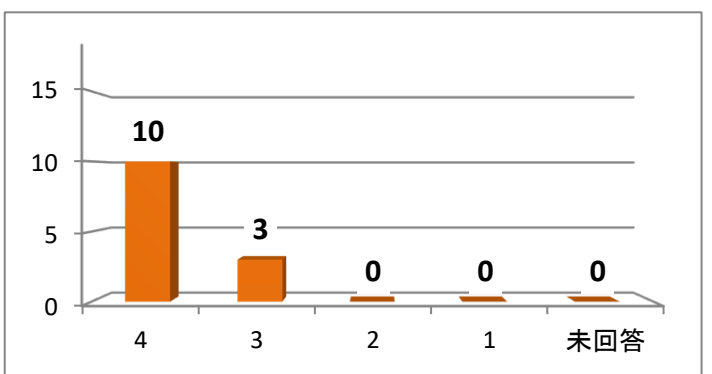
2. 気がかりなことや不安なことがあった際に気軽に伝えやすい雰囲気ですか。



3. ご利用者様のグループホームでの生活の様子が、ご家族様に伝わっていますか。

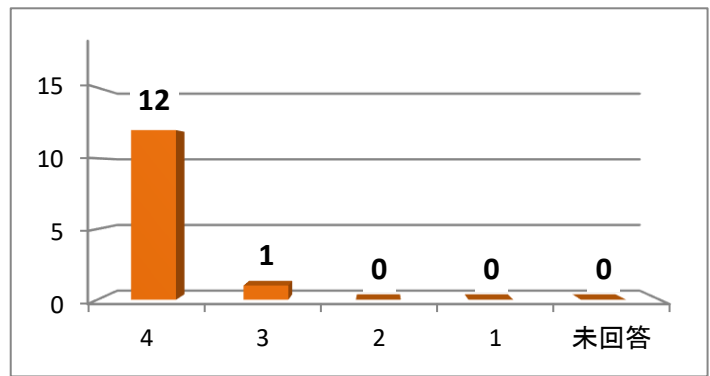


4. ご利用者様の援助の方向性について、ご家族様に十分に説明がなされていますか。



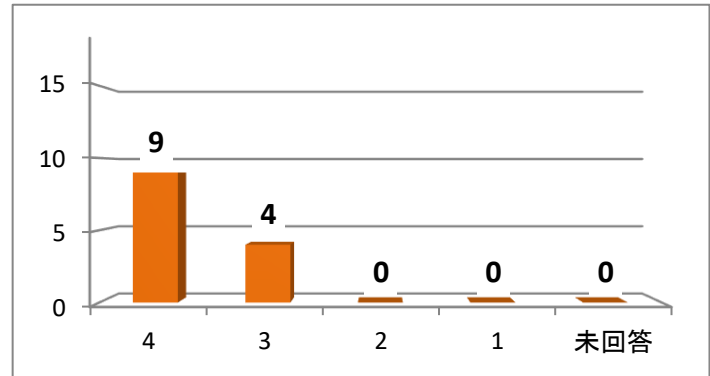
5. 職員は皆、気持ちの良い挨拶ができていると感じますか。

- ◇ 笑顔で皆さん挨拶されていて、とても気持ちが良いですネ。



6. 職員は皆、気配りができていると感じますか。

- ◇ 利用者との接触もよくて、話し声も明るくていいです。
- ◇ 介護、支援のご苦勞に感謝しております。



◆ あなたが考える、アイユウの苑グループホームの職員に「これだけは重視してほしい・大切に考えてほしい」という内容をお教えてください。

- ✓ コロナ禍のなか、面会の制限がある為、入所者に対して積極的な声掛けをお願いしたい。
- ✓ 気づき、対話等もよくて安心しております。
- ✓ 家族の為の施設では悪いと言う事。利用者本人ファースト。
- ✓ 他のホームは面会できない所が多い中、皆様のお力で面会をすることができるのは、本人・家族にとって大変幸せなことと思っています。ありがとうございます。
- ✓ これからの余生を楽しく、朗らかに過ごせるようにしてほしい。
- ✓ 日々、大変丁寧に対応いただきありがとうございます。高齢、身体の不自由なことで、体調面を見守っていただくという事と、家族と面会、外出も自由にできない中で、少しでも明るく過ごせることを願っています。

◆ 現在、ご面会に制限がある中、ご利用者様の状態をご家族様と職員とで共有するための手段として、近況報告の送付を毎月1回実施しております。率直なご意見(改善点など)や、ご提案がございましたらお教えてください。

- ✓ 引き続き、よろしくお願いいたします。
- ✓ 現状でよいかと思えます。
- ✓ 今現在は現状通りでお願いいたします。
- ✓ ペーパーレスで良いと思う反面、アナログな私どもは写真保存が向いて無いようです…。
- ✓ Wifi接続によるモニターを介した電話の使用。
- ✓ 面会時間が10分は少ない。時間の延長、もしくは面会回数を増やして欲しい。
- ✓ 家族が遠方なので、なかなか面会できない中、月に一度送っていただく近況報告は、本当にありがたく思っております。
- ✓ 近況報告を毎月送っていただき、母の様子もわかり大変有難く思います。面会も今のコロナ禍では仕方ないことだと思えますが、やはり寂しい気持ちもあります。面会時の体温計を非接触にしていただけると良いかと思えます。(予算の関係もあるとは思いますが…。)

【回答】

お忙しい中アンケートにご回答いただき、ありがとうございました。このアンケート結果をもとに、さらにより良い支援に邁進してまいります。

いただいたご意見から3点、お伝えいたします。

① ご利用者様への支援にあたって重視すること・大切にすることについて

当苑の職員が業務遂行に当たって重視している点は以下の3つです。

- ①認知症であっても、ご本人のその時の意思や思いを尊重する視点を重視すること
- ②ご利用者様のご家族の皆様が、アイユウの苑グループホームを利用することによって、安心して生活が送れるように行動すること
- ③職員はその個々の能力において、勇気を持つことと全力を尽くすこと

この度いただいたご意見を拝見いたしました。この3点の方針が正しかったと思えます。

現在不十分な点は、現在の個人とチームの能力、私の能力の限界による結果です。しかし職員は引き続き、「もっと上手にできるように」「もっと気がつけるように」「気がついたら、早く動くように」とそれぞれが成長することを念頭に、貪欲に勤務しています。

これからもご期待に沿えるように、尽力してまいります。

② オンライン面会について(テレビ電話でのご面会)

グループホームでもこの件につきましてはすでに環境も整えてあり、実施に向けて検討も重ねてまいりました。しかし現状ではオンライン面会実施については慎重に考えています。その理由を下に記しますので、ご一読いただきますようお願い申し上げます。

オンライン面会に限らず、なにかを始めるといことはそれに時間を費やすということです。もともと空いている時間がない場合は、なにかを止めるということと認識しています。私がお家族の皆様「職員は日々精一杯ご利用者の支援にあたっています。」と断言できるのは、職員の利用者様への支援の量(回数)が多いからです。つまり、職員は労働時間内にある休憩以外の時間、それぞれのサービス担当者会議でお約束している介護計画(ケアプラン)の内容を1回でも多く実践しようとしているということです。そもそもケアプランの多くの内容は、ご本人の嗜好とそれぞれの心身の状態をもとに立案しています。つまりそのケアプランに沿った支援は、ご本人がいきいきと心地よくグループホームでお過ごしいただくために、私たち職員が提供できるご本人にとって最も良いであろうサービス内容、ご本人にとって心地よいであろう内容になっているということでもあります。

オンライン面会実施となると、その際にはそこに職員が一人つかざるを得ません。となればケアプランの実施回数が減り、ご利用者様にとっての満足な時間が削減されること、そしてさらに、その間の他の利用者様の見守りが手薄になるという状況が生まれ、例えば歩行が不安定な利用者様の転倒の危険性が増加してしまいます。際限なく多くのことができるに越したことはないのですが、限られた時間と限られた人数でのサービス提供になります。ご家族様は、グループホームでご利用者本人様が安心して快適に、かつ安全に過ごされることを最優先で望んでおられるだろうという認識のもと、オンライン面会について慎重に考えている次第です。

③ 今後の支援について(新型コロナウイルス)

ご面会については、“厳しい制約があったとしても直接お会いいただけること”がご利用者の皆様及びご家族の皆様が最も望まれているかたちと考えています。また現在、厚生労働省が示す濃厚接触者の定義は以下の通りです。

- 陽性者と同居している人
- 陽性者と長時間の接触があった人(車内、航空機内等での同乗の場合を含む。)
- 適切な感染防護なしに陽性者を診察、看護又は介護していた人
- 陽性者の気道分泌液や体液などの汚染物質に直接接触した可能性が高い人
- マスクなしで陽性者と1m以内で15分以上接触があった場合

新型コロナウイルスに“陽性なのに無症状”があることがやっかいで、これらのことを考えると、1回のご面会は10分以内とさせていただくことは必須の条件だと考えています。ただし、感染者数の推移をみながら、「1回/週」を「2回/週」のように頻度を増やしていくことは視野に入れていきます。

引き続きご家族の皆様にも、ご来苑時には2重のマスクの着用と手指の消毒(アルコール消毒液はたっぷりご使用ください)をお願いいたします。

今しばらくは外出の支援などは受診の際など最小限に留めさせていただきますが、それぞれのご利用者の活躍できる場面を創出し、気分よく日々を送っていただくことを原則に、精一杯ご支援させていただきます。

ご面会時の体温計ですが、非接触のものを発注済です。もうしばらくお待ちください。

終わりに

ご家族の皆様にとっては、ご面会の制限など不自由・ご心配をおかけしています。引き続き、職員は精一杯の支援と新型コロナウイルス対策を展開してまいります。お気づきのことなどございましたら、ぜひお教えいただきますようお願い申し上げます。